

# ZOOM UP

物価と消費に関するアンケート

## 「暮らし向き」は回復するも、半年後は悪化の見通し

Text by しがぎん経済文化センター 橋原 美也子

緩やかな景気回復などにより、消費マインドが改善しつつある。一方、円安や光熱費の上昇に伴うさまざまな商品の値上げなどがみられ、さらに今年4月1日以降、消費税率が8%に引き上げられる。このような状況が、家計や個人消費の動向にどのような影響を及ぼしているのかを調査するため、県内の滋賀銀行店頭にご来店の女性を対象に「2013年冬季、物価と消費に関するアンケート」調査を行った。

- 調査名:「物価と消費に関するアンケート」 ●調査時期:2013年12月11日～13日
- 調査対象:滋賀県内の滋賀銀行本支店にご来店の女性 ●有効回答数:679人

### 「暮らし向き」は回復するも半年後は悪化の見通し

「世帯の現在の「暮らし向き」は、半年前と比べてどうか」との問いに対して(図1)、現在の「暮らし向きDI」(「良くなった」「やや良くなった」と回答した割合から「悪くなった」「やや悪くなった」と回答した割合を引いた値)は+6.6となり、前回(13年6月:-9.2)から2.6ポイント上昇した。緩やかな景気回復などによる株価の上昇や消費マインドの改善などから、「暮らし向きDI」は上昇したとみられる。

「今後、半年間でどうなると思うか」と見通しをたずねたところ、悪化が大幅に増え、今後の「暮らし向きDI」は-23.2となり、現状(+6.6)から16.6ポイント下落する見通しである。

### 「物価」は上昇が続く

「現在の物価は半年前と比べてどう

か」との問いに対しては(図2)、現在の「物価DI」(「かなり上がった」「やや上がった」と回答した割合から「かなり下がった」「やや下がった」と回答した割合を引いた値)は+74.4となり、上昇が続いている。円安による輸入価格の上昇や、燃料・光熱費の上昇などから食料品や日用品などの値上げが続いており、前回(13年6月:+56.1)から+18.3ポイントと大幅に上昇した。

「今後、半年間でどうなると思うか」と見通しをたずねたところ、消費税率引き上げを懸念してか「かなり上がる」と回答した割合が大幅に増え、「今後の物価DI」は+87.7となる見通しである。

### 消費税率引き上げ前に駆け込み購入するものは、「家電製品」

「消費税率が8%に引き上げられる前に購入する(した)もの」(複数回答)

についてたずねたところ(図3)、「特になし」と回答した人が最も多いものの(34.7%)、「家電製品」が3割にのぼり(30.8%)、「旅行・レジャー」(17.6%)と続いた。消費税率引き上げ前に冷蔵庫などの耐久消費財をはじめとする「家電製品」を購入する人は多いようだ。

### 消費税率引き上げ後は、「外食費」「衣料費」「食料費」を節約

「消費税率が8%に引き上げられた後に、節約する予定があるもの」(複数回答)をたずねたところ(図4)、「外食など飲食費」が最も多く(48.9%)、次いで「衣料費」(43.9%)、「食料費」(40.7%)、「光熱・水道費」(38.1%)と続いた。外食費や衣料費といった「不要不急の費用」と、食料費や光熱・水道費といった「努力で節約できる費用」が上位項目を占めた。

一方、「趣味・自己啓発費」(8.7%)、「住居費」(5.2%)、「生保・損保等の保険料」(4.8%)、「保健・医療費」(2.6%)、「(子どもや孫の)教育費」(1.8%)は10%以下にとどまった。教育や健康、住居にかかわる支出額については、消費税率引き上げの影響は少ないようだ。

### まとめ

今回の調査結果で、暮らし向きは半年前と比べて改善されたものの、物価のさらなる上昇や消費税率引き上げを懸念してか、暮らし向きの先行きに不安を感じている人は少なくないようだ。また、消費税率引き上げ後は、外食費や衣料費など不要不急の支出と、食料費や光熱費などの日常生活の支出を削減し、今後の生活に備える姿がうかがえる。今後の動向に注目したい。

図1 暮らし向きDIの推移

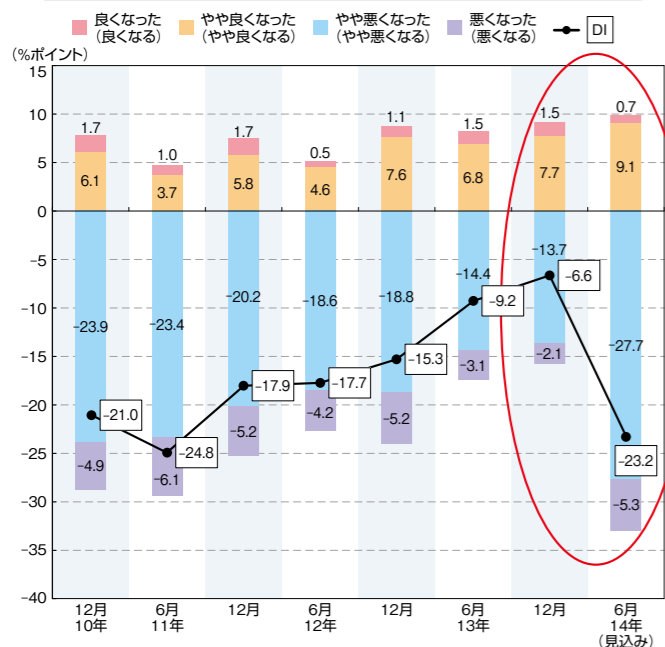


図2 物価DIの推移

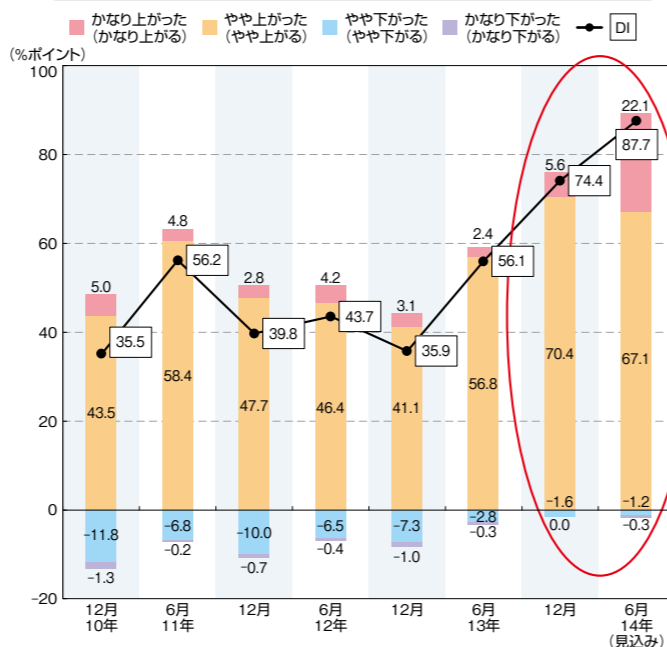


図3 消費税率引き上げ前に購入する(した)もの(複数回答)

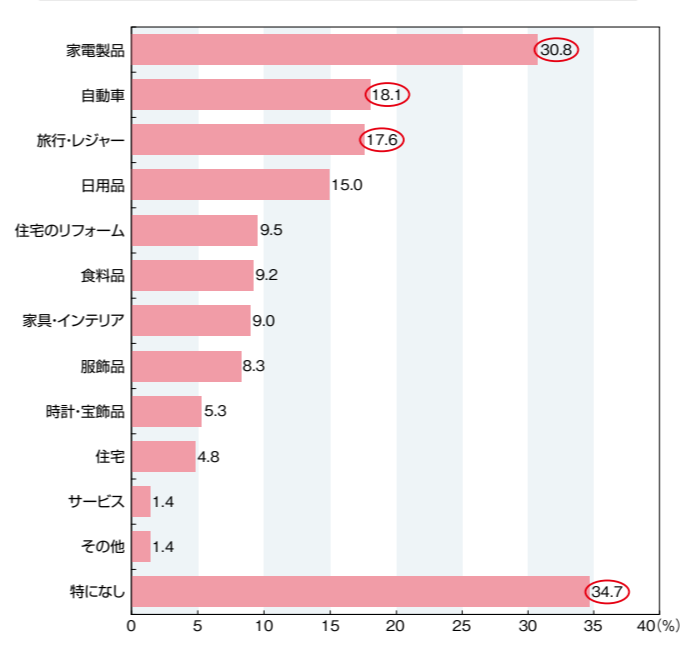


図4 消費税率引き上げ後に節約する予定があるもの(複数回答)

